

豊橋市のこんなことが
決まりました

市政の課題は？

一 般 質 問

発行：豊橋市議会
編集：豊橋市議会だより編集委員会
〒440-8501 豊橋市今橋町1番地
TEL：(0532)51-2920

とよはし市議会だより UP! | アップ |

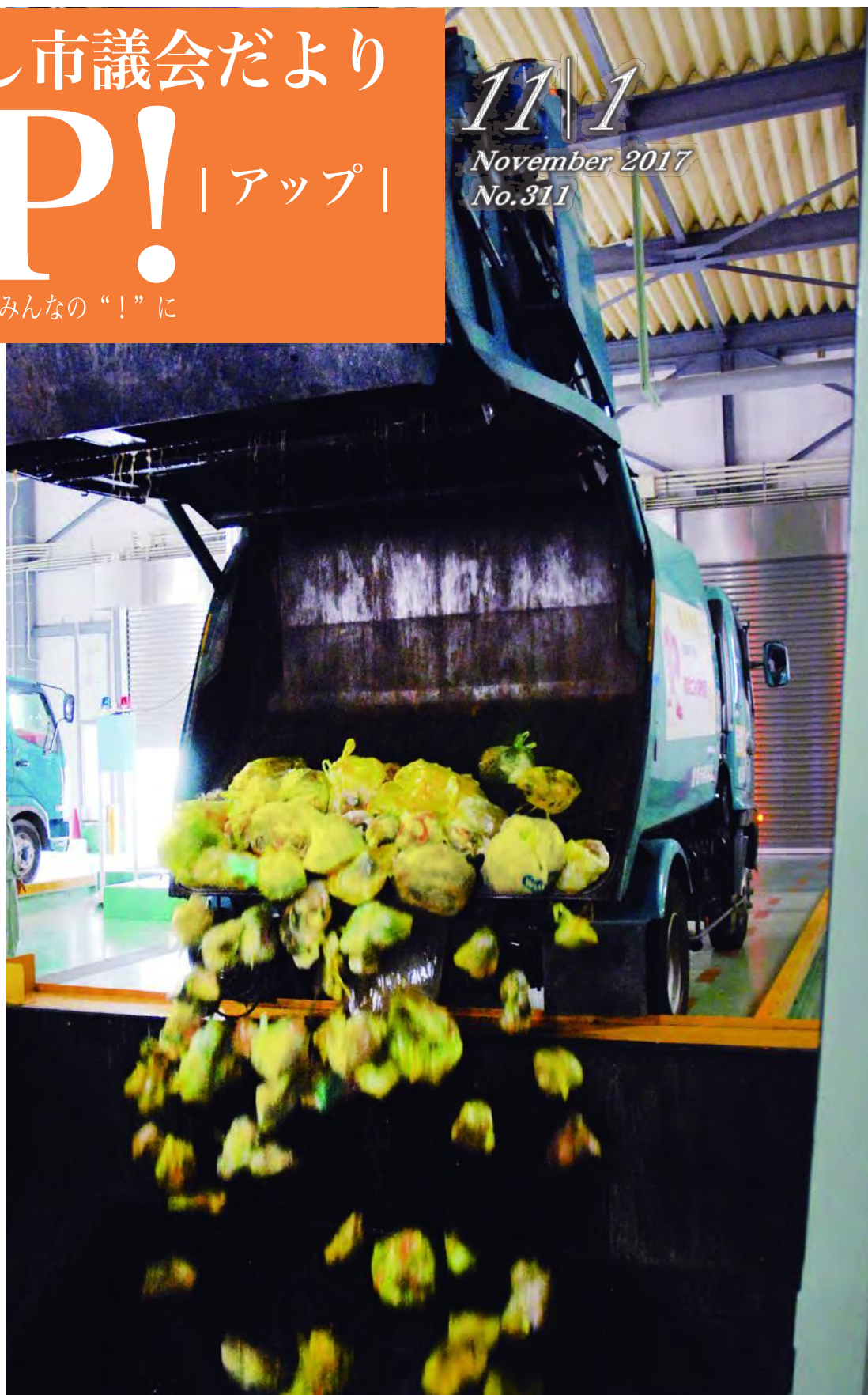
みんなの“?”を、みんなの“!”に

特
集

ごみ or 資源？

豊橋のごみ分別の今

▼16ページ



11 | 1
November 2017
No.311

平成29年9月定例会の概要

◆ 9月定例会 議案審議 ◆

会期 26日間 9月4日～29日

豊橋市の

こんなことが決まりました



本会議最終日の様子

9月定例会の議案は

市長提出議案…31件

議員提出議案…5件

合計36件

今号では
この中から
Pick up!

議案の内容、審議結果については
4Pの一覧をご覧ください。

平成28年度の一般会計、特別会計 および企業会計決算を「認定」しました

平成28年度決算議案は決算特別委員会において延べ4日間の審査が行われた後、本会議で採決が行われ、一般会計、特別会計および企業会計決算はそれぞれ認定されました。



決算特別委員会の様子

●企業会計

3会計の合計で歳入598億2,410万円に対し、歳出は582億335万円で、歳入歳出の差引額は16億2,076万円となりました。

●特別会計

8会計の合計で歳入877億8,252万円に対し、歳出は840億8,452万円で、歳入歳出の差引額は36億9,800万円となりました。

●一般会計

歳入1,225億3,303万円に対し、歳出は1,186億2,133万円で、歳入歳出の差引額は39億1,170万円となりました。

小中学校の校舎等の改修を行います

●議案

工事請負契約締結について
(議案第86・87・88・89・90号)

●概要

小中学校の校舎等の改修等を行うため、工事請負契約を締結するものです。工事の内容は次のとおりです。

- ・高根小学校校舎改築及び体育館等解体工事
- ・大村小学校校舎大規模改造工事
- ・吉田方小学校東・南校舎大規模改造工事
- ・大崎小学校校舎大規模改造工事
- ・南部中学校北校舎大規模改造工事

豊橋競輪場の改修を行います

●議案

工事請負契約締結について
(競輪場競走路改修工事)

●概要

豊橋競輪場の競走路の改修工事を行うため、工事請負契約を締結するものです。



予算の補正を行います

●議案

平成29年度豊橋市一般会計
補正予算(第2号)

●概要

歳入・歳出をそれぞれ1億2096万5000円追加し、予算の総額を1206億1635万3000円とするものです。

主な歳出の補正内容は次のとおりです。

なお、多目的屋内施設検討調査事業費の執行に当たっては附帯決議しました。

多目的屋内施設を核としたまちづくりの基本計画策定、介護用ベッドの購入、牛川東保育園ほか2園に空調機器を設置、こども未来館に屋内遊具を購入、高山学園に通園バスを購入、環境影響調査委託料の減額、まちなかインキュベーション事業等補助金の申請件数増加見込みに伴う増額、市立高等学校へのICT機器等の導入など

議案第65号平成29年度豊橋市一般会計 補正予算(第2号)についての附帯決議

多目的屋内施設検討調査事業費の執行に当たって、以下の点を市長に要請する。

記

- 1 調査の進捗に応じて、調査内容について市民や議会に対して随時積極的に情報提供を行うとともに、意見を聞く場を持つこと
- 1 人口減少が進行し、財政的に厳しさを増すことが予想される中、投資及び財源と経済波及効果を精査し、この多目的屋内施設が将来の豊橋市民の重荷になることがないように慎重に検討し、調査終了時には、その検討結果とともに判断根拠を明確にすること
- 1 既に存在する「豊橋公園・豊橋総合スポーツ公園整備の方向性」、「豊橋市中心市街地活性化基本計画」など、さまざまな関連する構想や計画などとの整合性について検討を行うこと
以上、附帯決議する。



平成29年9月定例会 審議結果

○=贊成 ×=反對 退=退席

件 名		議 決 結 果	会 派 名 ()内は所属議員数						
			自由民主党 (21)	公明党 (5)	まちフォーラム (4)	日本共産党 (3)	絆 基 会 (1)	豊橋だいき すき会 (1)	無所属 (1)
補正予算	・平成29年度豊橋市一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	×	○	○	○
	・平成29年度豊橋市総合動植物公園事業特別会計補正予算(第2号) ・平成29年度豊橋市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
	・平成28年度豊橋市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	×	×	○
決 算	・平成28年度豊橋市競輪事業特別会計歳入歳出決算認定について ・平成28年度豊橋市総合動植物公園事業特別会計歳入歳出決算認定について ・平成28年度豊橋市地下下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	×	○	○
	・平成28年度豊橋市水道事業会計利益の処分及び決算認定について ・平成28年度豊橋市下水道事業会計利益の処分及び決算認定について ・平成28年度豊橋市病院事業会計利益の処分及び決算認定について	可決及び 認定	○	○	○	○	×	○	○
	・平成28年度豊橋市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について ・平成28年度豊橋市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について ・平成28年度豊橋市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	○	○	○
	・平成28年度豊橋市公共駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について ・平成28年度豊橋市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○
	・豊橋市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例について ・豊橋市産業廃棄物処理施設及び汚染土壌処理施設の設置に係る紛争の予防及び調整に関する条例の一部を改正する条例について ・豊橋市営住宅条例の一部を改正する条例について ・市長の給料月額の特例に関する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○
	・工事請負契約締結について(陸上競技場フィールド改修工事) ・工事請負契約締結について(西口住宅建設工事(第1期)) ・工事請負契約締結について(西口住宅建設に伴う電気工事(第1期)) ・工事請負契約締結について(西口住宅建設に伴う管工事(第1期)) ・工事請負契約締結について(高根小学校校舎改築及び体育館等解体工事) ・工事請負契約締結について(大村小学校校舎大規模改造工事) ・工事請負契約締結について(吉田方小学校東・南校舎大規模改造工事) ・工事請負契約締結について(大崎小学校校舎大規模改造工事) ・工事請負契約締結について(南部中学校北校舎大規模改造工事) ・工事請負契約締結について(競輪場競走路改修工事) ・物品購入契約締結について(小型動力ポンプ付積載車) ・土地改良事業に伴う字の区域の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○
議員提出	・議案第65号平成29年度豊橋市一般会計補正予算(第2号)についての附帯決議	可決	○	○	退	○	○	○	○
	・道路整備予算の確保及び道路整備に係る補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書 ・精神障害者に対する公共交通機関の運賃割引制度の適用に関する意見書 ・受動喫煙防止対策を進めるために健康増進法の改正を求める意見書 ・定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○
陳 情	・「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情 ・平成30年度教育予算編成に関する陳情 ・定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情 ・豊橋市への移住者受け入れ政策に対する陳情 ・小中学校の教室について酷暑対策を求める陳情 ・設楽ダム建設計画の見直しについて意見表明を求める陳情 ・高師緑地公園で「わがこと・まるごと」地域共生社会づくり発信のための陳情	当局において慎重に検討し処置されるよう要望することに決定。							
	・豊橋市議会における情報保障を求める陳情	陳情の提出があったことを確認するとどめることに決定。							

市政の課題は？

一般質問

(9月定例会では18人の一般質問が行われました。)



一般質問とは？

一般質問とは、市民生活に関わる大切な内容について、市議会議員が市長などに対して、疑問を問いただし、所信の表明を求めるものです。豊橋市では年4回の定例会でのみ一般質問を行うことができます。

豊橋市議会の一般質問のルール

一般質問には、決められたルールがあります。

● 制限時間は60分 ●

一般質問には制限時間があり、質問と答弁を合わせて、一人につき60分です。残り時間は議場内のモニターに表示されています。

● 質問通告制 ●

議員は、どのような質問をするのか、要旨をあらかじめ議長に通告します。質問項目は豊橋市議会のホームページに掲載されますので、傍聴の参考にしてください。

● 質問の順番 ●

質問を行う順番はあらかじめ抽選によって決めています。日にちや順番を希望することはできません。

ええじゃないかポロシャツデー

市職員による「ええじゃないかポロシャツデー」の実施に合わせ、議員も本会議初日(9月4日)はポロシャツを着用して臨みました。議場におけるええじゃないかポロシャツデーは平成27年の9月定例会での実施が初めて、今回は3回目となります。議員自らがそれぞれ選んだポロシャツは色鮮やかで、普段とは雰囲気の違いが本会議の様子を御覧いただくことができます。

一般質問の情報を
ホームページで公開しています。

詳しくは

豊橋市議会

検索



- ◆ 一般質問の日程
- ◆ 議会の映像配信

- ◆ 会議録の検索
- etc.

一般質問

小中学校における エアコン設置について



日本共産党豊橋市議団
中西光江 議員

問 子どもたちの健康への配慮や学習に集中できる環境を整備するため、クーラー設置に向けた検討が必要だと考えるが、本市の小中学校における夏場の普通教室の学習環境の現状と認識について。また、全国、県、本市の設置状況と、導入した場合のコスト、および今後の設置への方向性について聞きたい。

答 平成23年度に小中学校全ての普通教室に壁掛け式扇風機を各4台ずつ導入し、熱中症等の健康面へ対応するとともに、全ての小中学校に緑のカーテンを設置し、室内の温度上昇の抑制を図っています。また、騒音対策が必要な場合や、体温調節が不得手な児童生徒たちのために、一部の学校の教室にはエアコンを設置しているところもあります。その他学校施設への対応だけでなく、児童生徒に対しては、ネッククーラーを許可するなどの暑さ対策を講じており、一定の学習環境が確保できているものと

認識しています。

平成29年4月1日現在の全国の公立小中学校における普通教室へのエアコン設置率は49・6%、愛知県は35・7%、本市は2・4%です。導入コストについては、騒音対策として一部の教室に設置した東陵中学校の場合、1教室あたり約180万円で、このほか付随設備の工事費も必要となるため、かなりの経費が見込まれます。

今後については、気象状況や周辺環境に大きな変動がなければ、当面はエアコンを設置する考えは持っています。引き続き現在設置されている壁掛け式扇風機等の効果も確認しながら、気象状況や教室の温度、湿度を注視することで熱中症を予防し、子どもたちの健康を第一とした学習環境の確保に努めていきたいと考えています。

その他の質問項目
・学童保育の現状と課題について

人口減少社会の まちづくりについて



自由民主党豊橋市議団
近藤喜典 議員

問 各分野において、まちづくりに関するさまざまな課題があると思うが、人口減少社会への対応についての基本的な考え方を聞きたい。

答 本市において人口減少は既に始まっており、避けられない大きな問題です。こうした状況に一定歯止めをかけるとともに、人口減少に適応した地域社会構造を構築していくことが必要です。

そのため、本市では豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた五つの戦略を、進行する人口減少を少しでも緩和していくための緩和策と、人口減少社会に見合ったまちづくりを進める適応策に分類し、全部局が連携しながらさまざまな施策を展開しています。

本市が将来にわたって活力を保ち、持続的に発展していくためには、一定の人口規模を維持していかなければなりません。それにはさまざまな課題や制約が

あり、実現は容易なことではありませんが、こうした状況にひるむことなく取り組むことが何より大切です。

一方で、人口減少社会への変化は、成長社会から成熟社会への転換を促す変化でもありません。今後は、これまで培ってきた本市の特徴や強みを生かし、社会の変化や技術革新に後れることなく、地域コミュニティも念頭に置きながら、成熟社会に対応したまちづくりを進めていきたいと考えています。



子どもの貧困問題について



日本共産党豊橋市議員
斎藤 啓

問 豊橋市の子どもの調査の結果と分析を踏まえ、今後の貧困対策の取り組みの方向性、経済的支援の充足を図る考え方および生活困窮家庭の所得増につなげる手だてについて聞きたい。

答 今年の1月から2月に実施した子ども調査は回収率が57・8%で、生活困窮層において、子どもの学習意欲や自己肯定感が低いこと、保護者の支援機関の認知度が低いことなどの傾向がありました。また、親子で過ごす時間が少ない層や学習の理解度が低い層においても、同様の傾向が出ているほか、親子の関わりが子どもの学習環境などの育ちに影響を与えていることや、生活困窮層では、生活環境に余裕がない状況にあることがうかがえました。

貧困対策として重要なことは、貧困から抜け出す力を子ども自身が身に付けることであり、幼児期の質の高い保育や学習支援、進学支援など保育や教

育の充実に取り組んでいきます。また、適切な生育環境の確保も必要であり、乳幼児全戸訪問や相談支援体制の整備など子育て支援の充実を図っていきます。さらに、さまざまな支援制度を知らないという実態もあるため、関係機関が連携し、必要な支援につながるよう取り組んでいきます。

経済的支援については、保育料の軽減や子ども医療費助成の拡充、今年度創設した豊橋独自の給付型奨学金制度など現在の制度を継続し、実施していきたいと考えています。

また、所得増の手だてとしては、生活困窮者には就労支援や資格取得にかかる給付金事業を、ひとり親家庭には自立就労支援を実施し、相談や給付などの支援を行っています。

その他の質問項目

・生活保護費の誤支給問題について
・豊橋市民病院における選定療養費について

豊橋公園の夜店の

考え方について



無所属
川原元則 議員

問 本年度の夜店の公園利用の状況と課題および来年以降も今年の形で夜店を継承していくことについて聞きたい。

答 今年は、陸上競技場の改修工事に伴い、場所を一部移動して実施しましたが、天候にも恵まれ、例年以上の人出でにぎわい、多くの市民に楽しんでいただくことができました。

一方、夜間に多くの人が集中することから、夜店側としても、利用者の安全確保に努めるとともに、ごみや騒音など周辺住民の生活環境の保全に引き続き十分な配慮が必要であると考えています。

これまでも主催者から提出されたイベントの使用許可申請については、目的や内容が都市公園法の趣旨に沿ったもので、公園の目的を阻害せず、利用が促進されることが確認できれば許可をしている状況です。今回の夜店のように、使用期間中に多くの市民が集まるイベントの場合

は、利用者の安全確保や、警察や消防など関係機関と調整を図るほか、周辺住民やその他の利用者に迷惑をかけないように、騒音やごみのポイ捨てについても、主催者側に十分な注意を払うよう指導しています。今年の夜店は、露店やお化け屋敷、スティージの位置を変更したこともあり、例年と比べても安全性や騒音等に関して大きな問題もなく開催できたと認識しています。来年以降の開催についても、この結果を踏まえ、周辺住民の十分な理解が得られるよう、また利用者の安全が確保できるよう、申請者や関係機関と事前協議や調整を十分に行っていききたいと考えています。

その他の質問項目

・吉田城が「続日本100名城」に選出されたことによる市の考え方について
・スマートフォンの児童、生徒等への影響について
・豪雨、竜巻等の災害が発生した場合における豊橋市の対応と取り組みについて

一般質問

くすのき特別支援学校の
教育について公明党豊橋市議員
尾林伸治 議員

問 今年度3年目を迎え、高等部職業コースの生徒も全学年がそろうとともに、平成30年度から産業科へ学科変更することが発表された。そこで、全体の児童生徒数の現状認識と今後の考え方、そして職業コースの現状と産業科への移行により期待される効果について聞きたい。

答 くすのき特別支援学校の今年度の児童生徒数は242名であり、平成27年度に開校したときは216名でした。高等部職業コースの学年進行による増加分18名を除くと、3年間で8名増加しています。開校時に想定していた定員は257名なので、現状の児童生徒数はほぼ想定どおりと認識しています。今後、児童生徒数が増加した場合でも、9室ある多目的室を普通教室に転用することで、一定数までは対応できると考えています。今後も引き続き児童生徒数の推移を注視し、くすのき特別支援学校での学びを必要とする

子どもたちに最適な教育環境を提供していきたいと考えています。

また、高等部職業コースの現状としては、将来的な職業自立を目指し、就労に必要な知識や技能を身につけることを目的に、農業、工業、流通サービスの幅広い分野で専門性の高い教育を展開しています。農業分野では、今年度から農園ハウスでの実習を開始するなど、農業が盛んな地域特性を生かし、地域や企業の協力を得ながら重点的に取り組んでいます。

来年度から産業科に移行することで、専門的な実習時間が増え、全国的にも珍しい取り組みとして、食品加工や流通販売など、いわゆる6次産業の実習も新たに実施していきたいと考えています。こうした実践的な学習を通して、産業科で学ぶ生徒一人一人が一般就労に必要な幅広い技能を身につけることができるものと期待しています。

豊橋市の公文書管理について

まちフォーラム
星野隆輝 議員

問 適正な文書管理がなされなければ、適正な情報公開は担保されない。文書管理システム等による文書の電子化の推進により、保存管理の負担軽減や知的財産としての公文書の活用を考えた保存期間の延長も可能になる。そこで文書の電子化を踏まえた、公文書の適切な管理について認識を聞きたい。

答 公文書の電子化については、検索が容易になる、保存スペースを少なくできる等、公文書の適正管理を行う上でメリットがあると考えています。電子化すれば、検索がなかなかできなかったり、保存先がはつきりわからないということが避けられるようになると思います。今後、文書管理システムの利用を徹底しつつ、公文書における電子化の割合を高めていくことが重要だと認識しています。

文書管理システムで作成される文書以外にも、過去に作成された歴史的な文書など、紙媒体と

して処理が完結し、長期間保存を要する公文書は紙媒体のまま保存しますと、時間の経過による劣化等によって適正な管理が困難になることが考えられるため、歴史的な文書の一部の電子データ化に着手しています。

今後は、市が保有する全ての公文書の電子化について必要性や優先度、費用対効果などを検証しつつ、電子化の方向性を研究していきたいと考えています。

また、国においてさまざまな公文書管理の問題が報道されましたが、国あるいは他の自治体のことだから関係がないという捉え方をするのはなく、身近に起こることだというように受け止め、公文書の適切な管理に関し、今一度、再認識、再確認を促すことも必要と考えています。

その他の質問項目

・豊橋市の『平和・交流・共生の都市宣言推進基本計画』について

東京五輪・リトアニアとの 交流について



公明党豊橋市議団
宮澤佐知子 議員

問 本市のホストタウン相手国であるリトアニアとのこれまでの取り組み状況と課題、並びに今後の取り組みについて聞きたい。

答 リトアニアとは愛知万博からのつながりを礎に、スポーツ面に限らず、民間交流をはじめとしたさまざまな交流に取り組んできました。

今年の6月には、市長がリトアニアを訪問し、オリンピック関係者のみならず、各分野の方々に直接トップセールスを行ってきま

した。

課題としては、リトアニアとの交流が、東京オリンピック・パラリンピック終了後も継続するよう、目に見える成果を目指すところが必要です。本来、ホストタウンとは、参加国との人的・経済的・文化的な相互交流を図ることを目的としたものですが、ホストタウンをきっかけに、将来にわたっても相手国との交流を継続・発展させていくことが、より重要で

あると考えています。

リトアニアは、フィンランドの南側のバルト三国(エストニア・ラトビア・リトアニア)の一つであり、豊橋市民にとって遠くて小さな国ですが、魚の練り物製品が好きなところなど、共通点もあります。また、カニかまの原料生産は世界一です。

また、全世界からフィンテックをはじめとするIT、AIの技術で注目されており、既に、全国民が役所に出向くことなく、ネットを通じて手続きができる社会を構築しています。

杉原千畝氏に象徴されるように、非常に親日的な国です。で、更なる友好関係の構築に向け、しっかりと取り組んでいきたいと思っています。

その他の質問項目

・ゾウのマーラの死を受けての総合動物公園について
・弾道ミサイルへの対応について

豊橋市の廃棄物 適正処理の促進について



まちフォーラム
深山周三 議員

問 プラマークごみの回収を増やす考え方とごみステーションの鳥獣被害対策について聞きたい。

答 プラマークごみの回収については、今年4月からの分別制度変更に伴う意見として、「収集日を隔週から毎週に戻してほしい」「各家庭の実態に合っていない」という声が多く届いています。

そこで、今年度は環境部の施設において、プラマークごみとペットボトルの臨時受け入れを開始するとともに、来年度に向けて、収集日を増やしていくことで市民の声にお応えしたいと考えています。

次に、ごみステーションの鳥獣被害対策については、かごなどの生ごみ容器を設置することは、カラス対策やごみステーションの乱雑化防止に効果は大きいと考ええます。しかしながら、専用容器を設置する場合は、歩道や道路脇、水路上、個人敷地などさまざまな場所があるので、地域の

方と一緒にそれぞれに合った方法を考えていきます。また、容器設置の手法につきましては、今後、検討を進めていきたいと考えています。

なお、生ごみ容器を設置するほか、ネットを二重にすることや、ネットの隅に重りを置き、めくれないようにすることも効果があり、市のホームページに掲載するとともに、チラシを配布して、広く市民の皆様にご紹介していきます。



ごみステーション

その他の質問項目

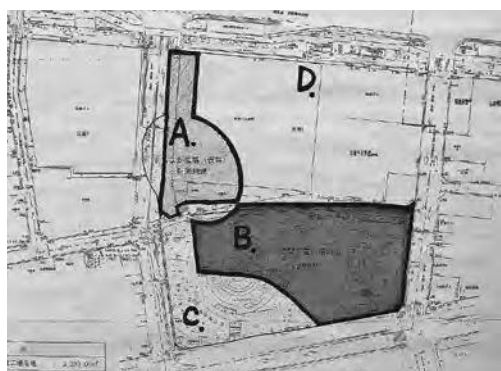
・豊橋市の工業の振興施策について
・豊橋市の高齢者福祉・介護の充実について

一般質問

狭間児童広場に関する
等価交換について
 紘基会
寺本泰之 議員

問 狭間児童広場の土地が等価交換によって大幅に縮小される。実際には、再開発組合の土地約1000平方メートルと、その倍以上の狭間児童広場の土地約2250平方メートルとの交換である。この事実が等価交換として成立するのは大変疑問であるが、等価交換とする合理的根拠について聞きたい。

答 豊橋駅前大通二丁目地区の市街地再開発事業により再整備される予定のまちなか広場（仮称）は、これまで駅前大通に面していなかったものが面するようになるなど、再整備により土地の価値、土地の単価が高くなります。したがって、現在の狭間児童広場とまちなか広場の評価価格をほぼ同等とする等価交換の考え方に基づき、再整備のまちなか広場の面積は計画している面積となります。



寺本泰之議員が質問で使用した図面

その他の質問項目
・本市の監査委員の職責及び監査の適正性について

本市のがん対策について


 公明党豊橋市議団
鈴木義則 議員

問 健康とよはし推進計画（第2次）は策定5年目を迎えたが、がんの予防や早期発見における成果と課題について聞きたい。また、市民病院における地域がん診療連携拠点病院としての取り組みと課題について聞きたい。

答 現在、健康とよはし推進計画の中間評価を行っています。本市では、平成28年度の総死亡者数は3405人で、内956人、約3人に1人ががんで死亡しています。

各種がん検診の受診率は横ばいで推移していますが、がん検診受診後の精密検査受診率は、肺、胃、子宮、乳がんで9割を超えていて、早期発見につながっていると考えられます。

がん検診受診者を増加させることが今後の課題で、がんに関する正しい情報や検診の必要性、定期的な受診のメリットを啓発するとともに、受診しやすい環境の整備を行う必要があります。

また、地域がん診療連携拠点病院の取り組みとしては、昨年9月、高度放射線棟を新設し、最新鋭の放射線治療装置やPET・CTなどの検査機器を導入しました。

一方、がん治療を受ける患者に対しては、がんと診断されたときから緩和ケアが提供されるよう、身体的苦痛や精神的苦痛などのスクリーニングを実施し、病棟スタッフと緩和ケアチームが連携して適切に苦痛を緩和する体制を構築してきました。

また、当院でのがん治療を終えた患者には、身近なところで安心して療養できるよう、がん地域連携パスを用いた治療計画を作成し、地域の医療機関と連携強化を図っています。

今後の課題は、精神科専門医やがん看護専門看護師などの継続的な確保だと認識しています。

その他の質問項目
・子ども・若者の自立支援におけるニーズ・ひきこもりについて

保育施設の受け入れ 状況等の把握について



まちフォーラム
廣田 勉 議員

問 保育施設の受け入れ状況について、年度途中の申し込みも多いことから、1年を通して入園希望者や保護者にリアルタイムでさまざまな情報提供を行いながら、親身になって相談できる窓口が必要となるが、受け入れ状況等の把握と入園希望者のための支援体制づくりについて聞きたい。

答 本市にある、59園の保育施設のうち公立の5園以外は全て民間施設のため、年度途中の受け入れ状況等については、月に一度、各園から報告を受け把握しています。各園での入園状況については、3歳未満児の入園が増えていることもあり、定員全体では空きがある状況でも、年齢ごとの児童数によっては保育室の面積基準等や、必要な保育士が確保できないといった理由で受け入れが難しいケースなどが見られますが、今後も待機児童を出さないためには、特に育児休業中の保護者へ復職の意向や

状況の丁寧な聞き取りを行うなど、年度途中の入園を希望する保護者への支援のための対応がますます必要になってきていると認識しています。

また、それぞれの地域に密接なつながりを持つて保育を実施しているため、保育状況をリアルタイムで各園一括した情報として提供することは難しいですが、出産直後からの保育施設利用に対する相談を受けられる体制を整えて、面談や電話連絡等により保護者の状況や意向を把握した上で利用可能な保育園等の情報を提供し、ニーズに応じた適切な保育の提供を行うとともに、入園に至らない場合でも、継続して支援を行うなど保護者に寄り添った支援体制づくりに努めていきたいと考えています。

その他の質問項目

・超高齢社会問題を解決するための本市の対応策について

小中学校の避難所の 防災機能について



公明党豊橋市議団
沢田都史子 議員

問 避難所となる小中学校施設の防災機能の認識と課題および今後の整備の対応について聞きたい。

答 本市では、小中学校を第二指定避難所に指定していますが、これは大規模災害時に開設し、多くの市民の方々が避難する避難所となります。したがって、災害発生から避難所解消までのプロセスにおいて、段階に応じたさまざまな防災機能が必要になると認識しています。

まず、耐震性、耐火性、バリアフリーといった学校としての基本性能に加え、災害情報の入手・伝達や、災害対策本部などとの連絡のための情報通信機能が挙げられます。

また、水・食料・生活用品など必要物資の備蓄場所、照明・電気機器の使用や、炊き出しなどに必要な電気・ガス、そして健康被害・衛生環境の悪化を回避するための良質なトイレも重要です。加えて、着替え・授乳などを

行うことができるスペースや、要配慮者などが安心して避難生活を送るための場所の確保も必要であると考えています。

防災機能の整備における今後の対応については、学校施設の大規模改修にあわせ、避難所に必要な防災機能を十分に備えた施設となるよう、教育部局が防災部局と調整し整備を進めています。また、不足する防災機能を補完するため、LED照明や仮設トイレといった資機材も熊本地震などの災害の教訓を踏まえ、整備を進めています。

そして、確保した防災機能を十分に生かせるよう、学校部局との連携により施設設備の維持管理をしつかりと行うとともに、防災訓練等を通じた検証・改善を行うことで、避難所としての防災機能を高めていきたいと考えています。

その他の質問項目

・熱中症対策について

一般質問

竜巻被害における

支援について

日本共産党豊橋市議員
鈴木みさ子 議員

問 8月7日の竜巻災害で、全壊3棟、半壊6棟と重大な被害があったが、国の被災者生活再建支援法の適用要件は、1市町村で10世帯以上の全壊などと厳しく、同じ被害でも支援を受けられないのは理不尽である。国、県への支援制度の拡充を求めること、市の災害見舞金の拡充についての考えを聞きたい。

答 国の被災者生活再建支援法については、同じ災害でも住宅の全壊被害が発生した世帯数により、支給の対象とならない市町村があるなど、被災者から見れば不均衡と感じる問題が生じているとして、全国知事会や地方公共団体から要件緩和の要望があることは承知しています。

また、愛知県独自の被災者生活再建支援制度については、一定の支援はあるものの、他県を見ますと手厚く支援している県もあります。

本市としましては、関係団体の対応や県内他都市の状況を

情報収集しながら、必要に応じ、国、県に要望できるよう準備をしていきたいと考えています。

一方、市の制度としては、建物被害に遭われた方への支援として、本市の災害見舞金条例に基づき、居住の用に供する住宅、または家財が滅失した場合に6万円、半壊においては3万円が支給され、豊橋市社会福祉協議会からも同額の見舞金が支給されることになっています。

本市の災害見舞金については、平成7年度から現行の金額であり、一定の対応はできていると考えていますが、さまざまな状況を勘案し、引き続き勉強していきたいと考えています。

その他の質問項目

・「AI（人工知能）」による自立支援型ケアマネジメントの実現を目指して（株）シーディーアイと締結した協定」について

指定ごみ袋への

市民の「誤解」について

豊橋だいすき会
長坂尚登 議員

問 「指定ごみ袋の売り上げが市の歳入につながっている」、あるいは「特定事業者の利益につながっているのではないか」という市民の誤解に対する認識と、制度の見直しも含めた「誤解」を解消するための今後の対応について聞きたい。

答 指定ごみ袋は、ごみ分別とごみ出しマナーの徹底、ごみステーションの乱雑化防止、事業系ごみや市外からのごみ混入の防止、ごみ収集作業の迅速化と安全確保、ごみ減量やリサイクルへの意識づけを目的に、平成28年4月より導入したものです。

この指定ごみ袋の売り上げの中に市の歳入はありません。価格については、多くの製造者や販売店が自由に設定でき、市場の競争性が確保できている中で、販売価格となっています。

これらの制度については、制度導入の際に開催した地域説明会などを通して周知してきましたが、残念ながらご質問のよう

な誤解を耳にすることもあり、今後も、一人一人に丁寧な制度の説明に努めていかなければならないと考えています。

誤解の解消に向けた今後の対応については、指定ごみ袋制度導入後1年余りが経過した現在、ごみ減量意識の高まりにより家庭系ごみが減るなど、導入目的に対する成果が確認できていることから、引き続き、制度は継続していきます。なお、今後も市民からの多様なご意見には、一人一人に丁寧に耳を傾けていきたいと考えています。

その他の質問項目

・家事代行サービス等シェアリングエコノミーサービスの普及について
・二川宿景観形成地区における旧街道の景観と歩行環境の整備について
・子どもの貧困対策について
・豊橋市立豊橋高等学校の「魅力化」について
・奨学金制度について
・平成28年11月18日東愛知新聞における市長の「新たなアイデア」について
・記者会見の公開について
・介護・医療データの活用について

農地集積に向けての 取り組みについて



自由民主党豊橋市議団
向坂秀之 議員

問 本市における農地集積に向けての取り組みの現状と課題、および新たに設置された農地利用最適化推進委員が担う役割や今後の取り組みについて聞きたい。

答 現在、本市では農地銀行や農地利用集積円滑化事業、農地中間管理事業を活用し、農地の集積に努めていて、約1000ヘクタールの貸借の実績がありますが、農地中間管理事業の一層の推進を目指し、補助採択を受けるための支援措置を充実させている国の動向を踏まえ、所有者に対し、中間管理機構への貸し出し意向調査を行うとともに、ほ場整備事業の説明会など農地の所有者が集まる機会を利用して制度の周知を行っています。

課題としては、貸し手が自分の資産である農地を他人に任せることに対し、不安を持つ方や相続などに備え、貸し出しをちゅうちょする方も多く、更な

る農地集積を進めていくためには、ほ場整備などの事業を推進するとともに、農家の皆様に対し、集約化のメリットについて、今後も機会を捉えて、継続的にかつ丁寧の説明していくことが大切だと認識しています。

農地利用最適化推進委員が担う役割は、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消などがあります。

今後の取り組みについては、新たな農業委員会の体制ができて以降、本年7月に農地利用最適化推進委員の活動マニュアルを整備し、農地利用状況調査を始めるところであり、地域の農地の現状、農地所有者の貸し付け意向や認定農業者など担い手の規模拡大の意向の把握に努める中で、集約化を積極的に進めたいと考えています。

その他の質問項目

・糸魚川市大規模火災を踏まえた本市の対応について

プロ等のセカンドキャリア 活用について



自由民主党豊橋市議団
二村真一 議員

問 プロやトップアスリート、アーテイストにおける引退後の新たな職業(セカンドキャリア)を生かしたまちづくりについて、また、教育現場における本市の外部指導者派遣事業の現状と今後の在り方について聞きたい。

答 引退後の新たな職業について、スポーツ選手に限らず、文化、芸術をはじめ、各分野で蓄積されたノウハウを、引退後などさまざまな場面で後進指導、特に地元である豊橋市の子どもたちへ指導・伝授することは、技術力の向上、能力開発を図る上で、非常に効果的かつ有益なものであると認識しています。

こうしたキャリアの有効活用は、各分野の裾野拡大や底上げといった限定的な効果だけでなく、スポーツや文化、芸術によるまちづくりを進める上で、新たなまちをつくるプレーヤーの獲得につながる重要なものと考えています。併せて、競技者から指導者へ、新たなキャリア形成の受

け皿を充実させ、人材活用の循環サイクルを定着させることが肝要だと考えています。

次に、本市の外部指導者派遣事業について、本年度は運動の部活動で2名、文化的部活動で2名の外部指導者を中学校4校に派遣し、謝金や傷害保険への加入を保障することで、安心して指導ができるようにしました。また、指導者には、全国的に活躍した選手や、卓越した指導力で多くの若者を育てた経験のある方を選んで配置しています。

今後は、本市の外部指導者派遣事業の成果と課題を踏まえ、併せて文部科学省令「部活動指導員の制度化」の動向を見極めながら、部活動における外部指導者の在り方について勉強していきたいと考えています。

その他の質問項目

・本市における高病原性及び低病原性鳥インフルエンザへの対応について

一般質問

ギャップおよび
ハサップについて自由民主党豊橋市議員
伊藤篤哉 議員

問 農業生産工程管理GAPおよび衛生管理手法HACCPの現状の課題と今後の対応、並びに農産物や加工食品等の海外販路拡大を図るグローバル戦略について聞きたい。

答 GAPは食品の安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための取り組みであり、農業の生産性向上に寄与するものです。外部機関の認証取得が市場での信頼性を獲得し、新たな販路開拓ツールになると考えていますが、認証維持の体制づくりや費用負担等のハードルもあり、具体的な成果に結びついていません。一方で、東京五輪の食料調達の要件にグローバルGAP等が明記されたことを受け、今後は愛知県や各農協などの関係機関と連携を密に取りながら、GAPの啓発活動や認証取得支援を充実させたいと考えています。

また、HACCP手法は市内では普及しておらず、認証制度

により認証を受ける、または設備投資等の費用がかかるなどと誤解され、導入に消極的な状況が課題だと考えています。

国は今後、すべての食品事業者を対象として、HACCP手法による衛生管理の制度化を進めるとしています。保健所では、本市の食品事業者に対し、食品衛生監視員による講習等を行う「ええじゃないかHACCP支援事業」により、取り組みを支援し、導入後は、確認済証の交付等を行い、HACCP手法による衛生管理の実践力があることの発信を支援し、制度化へ対応していきたいと考えています。

販路拡大についても、一般消費者へのPRや、シェフを集めた飲食店向けセミナーなど、多角的に取り組んでいきます。

その他の質問項目

・総合スポーツ公園の諸課題への認識と対応について

産業用地確保に向けた
取り組みについて自由民主党豊橋市議員
松崎正尚 議員

問 自治体が企業誘致に取り組む目的は、雇用機会と税源の確保であり、それらは本市経済に直接的な効果をもたらすと考えるが、産業用地の需要と供給の現状や用地確保へ向けた取り組みについて、また、どうしても豊橋で事業を広げていきないうといった喫緊の事業拡大への対応について聞きたい。

答 本市の産業用地については、平成26年度に石巻西川地区に2社が、28年度から29年度にかけてリサーチパークに3社の進出が決定し、内陸部の用地は全て分譲済みとなりました。供給できる産業用地は残りわずかといった状況にあり、新たな産業用地を早期に整備する必要があると考えています。

現在、国道23号バイパス沿線において、新たな産業用地確保に向けて地権者の方々や関係機関との調整を進めています。今後とも産業集積を一層高め、一刻も早

い分譲開始を目指し、精一杯努力していきます。

また、事業拡大については、初期投資の抑制や早期の操業開始を図る観点から、既設の空き工場や倉庫を取得、または賃借し、行う事例が増えてきています。このような傾向を踏まえ、昨年度、工業系用途地域および市街化調整区域にある空き工場などについての調査を行いました。今年度は調査で得られた情報をホームページに掲載し、情報提供するとともに立地相談の中で具体的に活用していくなど、企業の皆様の事業拡大の要望に対し、一緒に考え、できる限り応えていきたいと考えています。

その他の質問項目

・児童生徒数の将来予測を踏まえた小中学校施設改修について
・児童生徒のからだ(運動器)の状況について
・本市のスポーツにおける情報発信について
・NHK朝の連続テレビ小説実現へ向けた取り組みについて

ご案内

委員会のインターネット中継をスタート



豊橋市議会では9月定例会より
委員会のインターネット中継を
開始しました。

※第1・第2委員会室で開催される
委員会が対象

傍聴にお越しになれないときでも、
パソコンやスマートフォン等で
委員会をご覧いただくことができます。



閲覧方法

- 豊橋市議会ホームページ「インターネット映像中継」から
- インターネット検索ページから「豊橋市議会チャンネル」と検索

スマホで
簡単接続



次回 12月定例会 開催予定

月 日	時間	会 議	場 所
11月 17日(金)	10時	議会運営委員会	議会運営委員会室
27日(月)	10時	議会運営委員会	議会運営委員会室
28日(火)		請願・陳情締切り(～17時まで)	
12月 1日(金)	10時	議会運営委員会	議会運営委員会室
4日(月)	10時	● 本会議(一般質問など)	議場
5日(火)	〃	● 〃 (〃)	
6日(水)	〃	● 〃 (〃)	
7日(木)	10時	● 常任委員会(議案審査など)	第2委員会室
	13時	● 〃	
8日(金)	10時	● 〃	
	13時	● 〃	
11日(月)	10時	● 一般会計予算特別委員会 (補正予算審査など)	第1委員会室
14日(木)	10時	議会運営委員会	議会運営委員会室
15日(金)	13時	本会議(議決など)	議場

議会を動画で見よう!

● マークの日に、会議の映像を、ケーブルテレビやインターネットで中継しています。また、過去の映像はインターネットで録画配信しています。市議会ホームページからアクセスしてください。

議会を議場で見よう!

豊橋市議会では、皆さんの傍聴をお待ちしております。本会議の傍聴をご希望の方は、議会開催日に、豊橋市役所西館8階の傍聴者受付までお越しください。

議会を読もう!

市議会だよりは、2月、5月、8月、11月に発行します。ぜひ、皆さんの生活に関わる議会の活動を知る時間にしてください。

議会に参加しよう!

豊橋市議会に対して、陳情等を提出することができます。お手続きに関しては、議会事務局議事課(電話51-2920)へお問い合わせください。

● 議会運営委員会室、第1委員会室、第2委員会室⇒西館7階 ● 議場⇒西館8階
※日程は変更になる場合もありますので、傍聴の際には議会事務局(電話51-2920)までお問い合わせください。

特 集

ごみ or 資源？ 豊橋のごみ分別の今

豊橋市では4月からごみの分別制度が変更となりました。それに伴い、豊橋市のごみの現状とごみ分別制度変更後の状況について8月18日に環境経済委員会が開催され、さまざまな議論が交わされました。

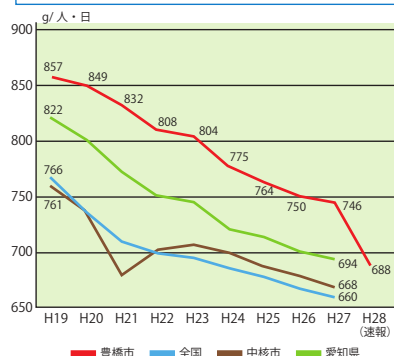
豊橋市のごみの現状

豊橋市のごみ総排出量は緩やかに減少しており、平成28年度は平成19年度と比較すると21,274トン(13.4%)減少しています。

特に家庭系のごみが順調に減少しており、平成28年度と平成27年度を比較すると指定ごみ袋制度の対象品目である「もやすごみ」と「こわすごみ」の減少が顕著でした。

また、1人1日当たりの家庭ごみ排出量は全国、他都市と比べて多い水準にありましたが、平成28年度は他都市と同程度の水準になり、指定ごみ袋制度の導入によるごみ減量の意識が市民に浸透してきていると考えられます。

1人1日当たりの家庭ごみ排出量の推移



一方で、もやすごみに多くのリサイクル可能な古紙が混入していること、また、4月から新たに分別収集を開始した生ごみの収集量(4～6月)は3,658トンと目標量の82.0%でしたが、依然としてもやすごみの中に生ごみが13%含まれていることから更なる分別への協力を啓発する必要があります。

市民の反応/市の取り組み

分別制度の変更により、ごみステーションでのカラス等の被害に対する相談が増えているため、黄色のネット配布のほか、生ごみ用容器を使用している取り組みなどが紹介されました。また、プラマークごみ、



生ごみ用容器の使用例

ペットボトルの収集回数が少ないとの声を頂いていることから、環境部施設で臨時受け入れを行うとのことでした。

委員の質疑

委員からは「生ごみ分別収集に伴う鳥獣被害対策はどのようにしているのか」「事業系生ごみの状況や今後の見通しはどうか」「もやすごみに含まれている古紙の回収と生ごみの分別の徹底による経済効果や処理費削減効果はどのように考えているのか」などの質疑が出ました。

バイオマス利活用センター

10月からバイオマス利活用センターの本稼働が始まりました。生ごみ等をバイオマスとしてエネルギー化することで、二酸化炭素の排出量を削減し、地球温暖化の防止を図るとともに、ガス発電により年間で一般家庭の約1,890世帯分の電力量を賄うことができるなどの効果が見込まれています。今後も生ごみの分別収集にご協力をお願いします。

CAMRY
新型カムリ

走りの興奮と優れた燃費性能を両立。

※写真は合成です。

NTP豊橋下地店 豊橋市下地町字境田90 TEL:0532-53-7231
NTP三ノ輪店 豊橋市三ノ輪町2-55 TEL:0532-63-5566
NTP高師店 豊橋市松井町字中新切62 TEL:0532-45-7231

Volkswagen 豊橋下地 豊橋市下地町字境田93 TEL:0532-53-8511

世界中のコンパクトカーの、ひとつ先を走り続けます。

<http://www.volkswagen.jp/toyohashishimoji/>

正 誤 表

豊橋市議会だよりNo. 311（2017年11月1日発行）に以下の誤りがありました。
お詫びして訂正いたします。

場 所	正	誤
2 ページ 特別会計歳出	840億8,452万円	840億 <u>円</u> 8,452万円